【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和2年5月28日(2020.5.28)

【公表番号】特表2019-511230(P2019-511230A)
【公表日】平成31年4月25日(2019.4.25)
【年通号数】公開・登録公報2019-016
【出願番号】特願2018-553371(P2018-553371)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｍ　1/02　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　5/071　(2010.01)
Ｃ１２Ｎ　1/00　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　5/02　(2006.01)
Ｃ１２Ｍ　3/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｍ　1/02　Ａ
Ｃ１２Ｎ　5/071
Ｃ１２Ｎ　1/00　Ｂ
Ｃ１２Ｎ　5/02
Ｃ１２Ｍ　3/02

【手続補正書】
【提出日】令和2年4月8日(2020.4.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
細胞を培養するための容器であって、
培養されるべき細胞を含む所定の体積の液体を保持するように配列される、容器本体であって、前記懸濁液中の細胞を維持するために十分な前記液体の体積の移動を生成するように配列される、変形可能部分を有する、容器本体
を備える、容器。
【請求項２】
前記容器本体は、基部および側壁を備える、請求項１に記載の容器。
【請求項３】
前記変形可能部分は、前記基部および側壁のうちの少なくとも１つ上に位置する、請求項１に記載の容器。
【請求項４】
前記変形可能部分は、前記容器本体と一体的に形成される、請求項１に記載の容器。
【請求項５】
前記変形可能部分は、前記容器本体に除去可能に取付可能である、請求項１に記載の容器。
【請求項６】
前記変形可能部分の形状は、円形、楕円形、長方形、三角形、および正方形のうちの１つである、請求項３に記載の容器。
【請求項７】
前記変形可能部分の変形に応答して、前記液体の体積は、移動される、請求項１に記載

の容器。
【請求項８】
前記変形可能部分は、前記容器本体の内部に向かう方向に変形される、請求項１に記載の容器。
【請求項９】
第２の変形可能部分をさらに備える、請求項１に記載の容器。
【請求項１０】
前記変形可能部分は、前記容器本体の基部および側壁のうちの一方上に位置し、前記第２の変形可能部分は、前記容器本体の基部および側壁の他方上に位置する、請求項９に記載の容器。
【請求項１１】
前記変形可能部分は、変形のパターンに応答して、前記液体の体積の移動を生成するように配列される、請求項１に記載の容器。
【請求項１２】
前記変形可能部分を変形させ、前記液体の体積の移動を生成するように構成される、１つまたはそれを上回る可動部材を有する、変形プレートと組み合わせられる、請求項１に記載の容器。
【請求項１３】
細胞を培養する方法であって、
培養されるべき細胞を含む所定の体積の液体を変形可能部分を有する容器内に設置するステップと、
前記懸濁液中の細胞を維持するために十分な前記液体の体積の移動を生産生成するために、前記変形可能部分を変形させるステップと、
を含む、方法。
【請求項１４】
前記変形可能部分を変形させるステップは、前記変形可能部分を手動で変形させることを含む、請求項１３に記載の方法。
【請求項１５】
前記容器を１つまたはそれを上回る可動部材を有する変形プレート上に設置するステップをさらに含み、前記変形可能部分を変形させるステップは、前記１つまたはそれを上回る可動部材を用いて前記変形可能部分を変形させることを含む、請求項１３に記載の方法。
【請求項１６】
培養されるべき細胞を含む所定の体積の液体を変形可能部分を有する容器内に設置するステップは、培養されるべき細胞を含む所定の体積の液体を容器本体の側壁および基部のうちの少なくとも１つ上の変形可能部分を有する容器内に設置することを含む、請求項１３に記載の方法。
【請求項１７】
前記１つまたはそれを上回る可動部材を用いて前記変形可能部分を変形させることは、前記１つまたはそれを上回る可動部材を前記上部表面を通して延在する平面を越えて延在する前方位置に移動させることを含む、請求項１５に記載の方法。
【請求項１８】
前記１つまたはそれを上回る可動部材を用いて前記変形可能部分を変形させることは、前記１つまたはそれを上回る可動部材を用いて前記変形可能部分に接触し、前記変形可能部材を容器本体の内部に向かって移動させることを含む、請求項１５に記載の方法。
【請求項１９】
前記１つまたはそれを上回る可動部材を用いて前記変形可能部分を変形させることは、前記変形可能部分における変形パターンを作成することを含む、請求項１５に記載の方法。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
本教示の前述および他の側面、実施形態、ならびに特徴は、付随の図面と併せて以下の説明からより完全に理解されることができる。
本願明細書は、例えば、以下の項目も提供する。
（項目１）
細胞を培養するための容器であって、
培養されるべき細胞を含む所定の体積の液体を保持するように配列される、容器本体であって、前記懸濁液中の細胞を維持するために十分な前記液体の体積の移動を生成するように配列される、変形可能部分を有する、容器本体
を備える、容器。
（項目２）
前記容器本体は、基部および側壁を備える、項目１に記載の容器。
（項目３）
前記変形可能部分は、前記基部および側壁のうちの少なくとも１つ上に位置する、項目１に記載の容器。
（項目４）
前記変形可能部分は、前記容器本体と一体的に形成される、項目１に記載の容器。
（項目５）
前記変形可能部分は、前記容器本体に除去可能に取付可能である、項目１に記載の容器。
（項目６）
前記変形可能部分の形状は、円形、楕円形、長方形、三角形、および正方形のうちの１つである、項目３に記載の容器。
（項目７）
前記変形可能部分の変形に応答して、前記液体の体積は、移動される、項目１に記載の容器。
（項目８）
前記変形可能部分は、前記容器本体の内部に向かう方向に変形される、項目１に記載の容器。
（項目９）
第２の変形可能部分をさらに備える、項目１に記載の容器。
（項目１０）
前記変形可能部分は、前記容器本体の基部および側壁のうちの一方上に位置し、前記第２の変形可能部分は、前記容器本体の基部および側壁の他方上に位置する、項目９に記載の容器。
（項目１１）
前記変形可能部分は、変形のパターンに応答して、前記液体の体積の移動を生成するように配列される、項目１に記載の容器。
（項目１２）
前記変形可能部分を変形させ、前記液体の体積の移動を生成するように構成される、１つまたはそれを上回る可動部材を有する、変形プレートと組み合わせられる、項目１に記載の容器。
（項目１３）
細胞を培養するための容器であって、
培養されるべき細胞を含む所定の体積の液体を保持するように構成される、容器本体で

あって、基部および側壁を有し、前記基部の少なくとも一部は、変形可能である、容器本体を備え、
前記基部における変形のパターンに応答して、前記細胞は、前記細胞に印加される剪断応力を最小限にしながら、懸濁液中に維持される、容器。
（項目１４）
前記基部の部分全体が、変形可能である、項目１３に記載の容器。
（項目１５）
前記変形のパターンは、波、円形、および蛇行パターンのうちの１つを含む、項目１３に記載の容器。
（項目１６）
前記基部における変形のパターンに応答して、前記変形可能部分は、前記容器本体の内部に向かう方向に変形される、項目１３に記載の容器。
（項目１７）
前記側壁の少なくとも一部は、変形可能である、項目１３に記載の容器。
（項目１８）
前記容器本体は、円筒形に成形される、項目１３に記載の容器。
（項目１９）
細胞を培養するためのシステムであって、
培養されるべき細胞を含む所定の体積の液体を保持するように構成される、本体を有する、容器であって、変形可能部分を有する、容器本体と、
前記変形可能部分を変形させ、前記懸濁液中の細胞を維持するために十分な前記液体の体積の移動を生成するように配列される、１つまたはそれを上回る可動部材と、
を備える、システム。
（項目２０）
筐体および上部表面を有する、変形プレートをさらに備え、前記可動部材は、前記筐体内に配置される、項目１９に記載のシステム。
（項目２１）
前記１つまたはそれを上回る可動部材は、前方位置に移動し、前記変形可能部分に接触し、それを変形させる、項目２０に記載のシステム。
（項目２２）
前記前方位置では、前記１つまたはそれを上回る可動部材は、前記上部表面を通して延在する平面を越えて延在する、項目２１に記載のシステム。
（項目２３）
コントローラをさらに備え、前記コントローラは、前記１つまたはそれを上回る可動部材に、前記変形可能部分を変形させるように命令する、項目１９に記載のシステム。
（項目２４）
前記１つまたはそれを上回る可動部材を移動させるように配列される、アクチュエータをさらに備える、項目１９に記載のシステム。
（項目２５）
前記コントローラは、前記１つまたはそれを上回る可動部材に、所定のシークエンスの変形を実施するように命令する、項目２３に記載のシステム。
（項目２６）
前記１つまたはそれを上回る可動部材は、前記変形可能部分における変形パターンを作成するように配列される、項目２３に記載のシステム。
（項目２７）
前記変形パターンは、波、円形、および蛇行パターンのうちの１つを含む、項目２６に記載のシステム。
（項目２８）
細胞を培養する方法であって、
培養されるべき細胞を含む所定の体積の液体を変形可能部分を有する容器内に設置する

ステップと、
前記懸濁液中の細胞を維持するために十分な前記液体の体積の移動を生産生成するために、前記変形可能部分を変形させるステップと、
を含む、方法。
（項目２９）
前記変形可能部分を変形させるステップは、前記変形可能部分を手動で変形させることを含む、項目２８に記載の方法。
（項目３０）
前記容器を１つまたはそれを上回る可動部材を有する変形プレート上に設置するステップをさらに含み、前記変形可能部分を変形させるステップは、前記１つまたはそれを上回る可動部材を用いて前記変形可能部分を変形させることを含む、項目２８に記載の方法。
（項目３１）
培養されるべき細胞を含む所定の体積の液体を変形可能部分を有する容器内に設置するステップは、培養されるべき細胞を含む所定の体積の液体を容器本体の側壁および基部のうちの少なくとも１つ上の変形可能部分を有する容器内に設置することを含む、項目２８に記載の方法。
（項目３２）
前記１つまたはそれを上回る可動部材を用いて前記変形可能部分を変形させることは、前記１つまたはそれを上回る可動部材を前記上部表面を通して延在する平面を越えて延在する前方位置に移動させることを含む、項目３０に記載の方法。
（項目３３）
前記１つまたはそれを上回る可動部材を用いて前記変形可能部分を変形させることは、前記１つまたはそれを上回る可動部材を用いて前記変形可能部分に接触し、前記変形可能部材を容器本体の内部に向かって移動させることを含む、項目３０に記載の方法。
（項目３４）
前記１つまたはそれを上回る可動部材を用いて前記変形可能部分を変形させることは、前記変形可能部分における変形パターンを作成することを含む、項目３０に記載の方法。